

5 研究成果発表会

(1) 令和3年度研究成果発表会 【校内発表】

ア 目 的

- ・ 発表を通じて生徒の発信力を高めるとともに、地域との協働を深める。また、講評を得ることにより
今後の本校教育活動の改善に資するとともに、本事業の研究成果を他校に発信する機会とする。

イ 日 程

令和3年12月17日（金） 【午前】

・ 開会の言葉（放送）	9：15
・ 生徒発表①	9：20～10：10
1グループ8分（発表5分＋質疑＋入替え等）×6グループ	
・ コメンテーターの講評※	10：10～10：15
・ 休憩	10：15～10：25
・ 生徒発表②	10：25～11：10
1グループ8分（発表5分＋質疑＋入替え等）×5グループ	
・ コメンテーターの講評※	11：10～11：15
・ 教室において本日の振り返り（生徒）	

※ 山北町教育委員会・県職員・大学の教授など計24名の方々に、コメンテーターとしての来校をお願いし、(c)で前半の発表者に対しての講評を、(f)で後半の発表者に対しての講評をいただいた。

ウ 対象生徒

本校生徒全員（但し、12月18日の発表生徒は除く）

エ 発表会の内容

以下の表に研究タイトル一覧を示す。すべての会場（24会場）に、1～3年生が均等に入る
ようにし、他学年の発表を聞くことができるよう調整した。

発表順		番号	研究タイトル	会場
1	1	食生活と健康ー成長期の今、摂るべき栄養とはー	3-1	
2	25	地震が起きたら	3-1	
3	38	自殺が少くなる社会	3-1	
4	73	高校生による自動車事故の対策	3-1	
5	97	犬の殺処分を減らすには	3-1	
6	121	ゲームが現代の子どもに与える影響	3-1	
7	145	スマホ依存が少ない社会	3-1	
8	169	質の良い睡眠	3-1	
9	193	食品ロスをなくす	3-1	
10	217	山北で結婚して住んでもらう大作戦	3-1	
11	241	山北町を人気な町にしよう！	3-1	
12			3-1	

発表順		番号	研究タイトル	会場
1	4	ストレスと精神障害		保健教室
2	28	森の生き物対策		保健教室
3	52	後悔しないために何ができるか		保健教室
4	76	災害時には自分の命を自分で守るためにには		保健教室
5	100	生みを部う事の責任		保健教室
6	124	野獣被害減少を目指して(12月18日(土)代表発表)		保健教室
7	148	スマホの見すぎによる課題改善		保健教室
8	172	豪雪豪雨で暮らしを守るために		保健教室
9	196	地域から全国へ		保健教室
10	220	山北森林セラピー		保健教室
11	244			保健教室
12				保健教室

発表順		番号	研究タイトル	会場
1	2	地球温暖化と健康的関係性	3-2	
2	26	火山はなぜ噴火するのか	3-2	
3	50	山北高校を存続させるためには	3-2	
4	74	健康的な生活	3-2	
5	98	感染症をひどくするには	3-2	
6	122	毎日楽しく生きる方法	3-2	
7	146	がんを治して健康に暮らそう	3-2	
8	170	いじめを減らすには	3-2	
9	194	コロワクチン	3-2	
10	228	産婦入科の必要性	3-2	
11	242	山北町に若者を呼びこむために	3-2	
12			3-2	

発表順		番号	研究タイトル	会場
1	5	認知症予防	3-4	
2	29	富士山が噴火したら	3-4	
3	53	豪雪野球のおもしろさ	3-4	
4	77	セスゴーバーは悪いでない	3-4	
5	101	人々が生活しやすいようにするには	3-4	
6	125	體調の大きさについて	3-4	
7	149	なぜ動物は食べられないといけない?	3-4	
8	173	ボイ病で働くためにには	3-4	
9	197	豪雪豪雨が楽しみやすい街	3-4	
10	221	併んでも見つかる山北町	3-4	
11	245	山北町の活性化	3-4	
12			3-4	

発表順		番号	研究タイトル	会場
1	3	心の病気とはなんだろう?(12月18日(土)代表発表)	3-3	
2	30	地震が起きた時、助かるためにすること	3-3	
3	51	豊かな海を実現するには	3-3	
4	75	ゲームで幸せな社会	3-3	
5	99	バスケットボールにおけるメリカと日本の違い	3-3	
6	123	小学生の便秘	3-3	
7	147	食事を楽しくするには	3-3	
8	171	少子高齢化を止めには	3-3	
9	195	誰もが傷について	3-3	
10	219	山北町の人口を増やすための対策	3-3	
11	243	Y×Y 2つの町の魅力とは	3-3	
12			3-3	

発表順		番号	研究タイトル	会場
1	6	生み習慣を助ぐためには	3-5	
2	27	富士山が噴火したら。。。	3-5	
3	54	徳島問題	3-5	
4	78	適切な脚踏について	3-5	
5	102	地球温暖化のない社会	3-5	
6	126	コロナが絶対するには	3-5	
7	150	日暮町を盛り上げるためにには	3-5	
8	174	ボイ病を無くすには	3-5	
9	198	豪雪豪雨の対策を減らすために	3-5	
10	222	山北町を健康にしよう	3-5	
11	246	山北町に花火打ち上げよう!	3-5	
12			3-5	

発表順		番号	研究タイトル	会場
1	7	人々の生活にあるストレス	3-6	
2	31	災害後の生活	3-6	
3	55	手洗いについて	3-6	
4	79	運動不足を解消するには	3-6	
5	103	健康について~地域の人と交流し健やかな人を増やそう~	3-6	
6	127	海水をきれいにするには?	3-6	
7	151	高齢化社会	3-6	
8	175	スケートボードがしやすい環境を作るには?	3-6	
9	199	山北町の少子高齢化問題について(12月18日(土)代表発表)	3-6	
10	223	山北町の発展	3-6	
11	247	山北と弓道	3-6	
12	265	御殿場線の本数を増やしたい!	3-6	

発表順		番号	研究タイトル	会場
1	10	ストレス~高校生に向けて~	2-3	
2	34	コロナで伝えることの無い世界を作るには	2-3	
3	58	高齢者の交通事故を削減しよう	2-3	
4	82	殺人犯ゼロの国	2-3	
5	106	障がい者が暮らしやすい社会	2-3	
6	130	若い世代に文学の魅力を広めるために	2-3	
7	154	新型コロナウイルスについて	2-3	
8	178	生活の改善、健康な生活をおくるには	2-3	
9	202	水×健康	2-3	
10	226	山北の町おこし	2-3	
11	250	山北町に人を呼び込むために	2-3	
12			2-3	

発表順		番号	研究タイトル	会場
1	8	睡眠障害～不眠症～	2-1	
2	32	きな粉	2-1	
3	56	高齢者の孤独死の現状と防ぐための対策	2-1	
4	80	高齢者と障がい者の住みやすい町づくり	2-1	
5	104	バリアフリーの大切さ	2-1	
6	128	ニートについて	2-1	
7	152	睡眠	2-1	
8	176	コロナ感染	2-1	
9	200	少子化を防ぐには	2-1	
10	224	山北町の少子高齢化対策	2-1	
11	248	山北絶品極上パフェ	2-1	
12			2-1	

発表順		番号	研究タイトル	会場
1	11	生活習慣病	2-4	
2	35	ネット依存とコロナの関係性	2-4	
3	59	自殺を無くすには	2-4	
4	83	コロナでのLIVE	2-4	
5	107	食品ロス~食材が無駄にならない社会をつくるには?~	2-4	
6	132	孤独死を減らすには	2-4	
7	155		2-4	
8	179	少子高齢化を防ぎ、明るい町にするには?	2-4	
9	203	皆がスポーツを好きになるには	2-4	
10	227	高齢化	2-4	
11	256	開成町に若者を呼び込む方法	2-4	
12			2-4	

発表順		番号	研究タイトル	会場
1	9	睡眠と健康について	2-2	
2	33	高齢者を抱える問題と対策	2-2	
3	57	質の良い睡眠を取るには	2-2	
4	81	高齢者のがいきいと元気に生きていく社会	2-2	
5	105	高齢者と運動	2-2	
6	129	愛護動物を守るには	2-2	
7	153	殺処分を無くすために	2-2	
8	177	どうしたら説教中傷をへらせるか	2-2	
9	201	感染拡大を防ぐために	2-2	
10	225	介護需要を少なくするには	2-2	
11	249	理想の山北	2-2	
12			2-2	

発表順		番号	研究タイトル	会場
1	12	依存症による悪影響	多目1	
2	36	山高を廃校しないために	多目1	
3	60	育児休暇をとりやすくなるには	多目1	
4	84	LGBTが理解される世の中になるには	多目1	
5	108	海の生き物がゴミを貰わないようにするために	多目1	
6	131	ペットボトルの活用	多目1	
7	161	スマホの見すぎによる健康被害	多目1	
8	180	交通事故について	多目1	
9	204	コロナ禍でも楽しく遊べる方法は?	多目1	
10	218	豪雪市を活性化させるためにには	多目1	
11	252	機械と高齢者の暮らし	多目1	
12			多目1	

発表順	番号	研究タイトル	会場
1	13	生活習慣病 運動不足編	2~5
2	37	高齢者が安心できる場所をつくるには	2~5
3	61	少子化をなくすためには	2~5
4	85	防災に強いまち	2~5
5	109	高齢者の生きやすい世の中	2~5
6	133	日本の長所を他の国へ伝えるには	2~5
7	157	地球温暖化をなくすには	2~5
8	181	文化祭ができるようになるには	2~5
9	205	ねんざ	2~5
10	229	人口減少を防ぐためには	2~5
11	253	じゅーたい	2~5
12			2~5

発表順	番号	研究タイトル	会場
1	16	食生活から出る体への影響	1~1
2	40	食生活	1~1
3	64	山北町の過疎化を防ぐためには	1~1
4	88	新型コロナウイルスの感染を減らすためには	1~1
5	112	犬の殺処分をゼロに	1~1
6	136	山北PRするパンフレット作り	1~1
7	160	スマホによる健康被害を解消するには	1~1
8	184	なぜボンズケが平塚市にないのか	1~1
9	208	未病を見つけよう	1~1
10	232	特産品を使って地域の住みやすさUP!	1~1
11	251	ツリーハウスやグランピングをつくり、山北町を盛り上げる	1~1
12			1~1

発表順	番号	研究タイトル	会場
1	14	バランスの良い食事について	2~6
2	49		2~6
3	62	ストレスフリーに電車を乗車するには	2~6
4	86	若者の負担を減らし、高齢者を支えていく社会を実現するには	2~6
5	110	CO2と地球温暖化	2~6
6	134	高齢者が孤独、孤立しない社会を実現するには	2~6
7	158	アニメ、漫画の規制を厳しくしないためには	2~6
8	182	ネット依存を減らしていくには	2~6
9	206	コロナ禍でも感染を広げずイベントを行なうには	2~6
10	230	あなたと街ぐるめ 観光で街をにぎやかに	2~6
11	254	特産品をアピールするには?	2~6
12	266	山北町の発展	2~6

発表順	番号	研究タイトル	会場
1	17	睡眠と健康	1~2
2	41	高齢者ドライバーの問題について	1~2
3	65	戦争と黒人差別について	1~2
4	89	自分が不自由な人が不自由なく暮らすためには	1~2
5	113	コロナ感染者を減らす為には	1~2
6	144	若さを保つ生活	1~2
7	156	コロナ禍の終息のためには	1~2
8	185	コロナの中よりよく生きていくために	1~2
9	209	未病予防の食生活プログラム(12月18日(土)代表発表)	1~2
10	233	箱根のおもやげで地域活性化	1~2
11	257	近代と自然の融合	1~2
12			1~2

発表順	番号	研究タイトル	会場
1	15	ストレスがおびやかす精神障害	多目2
2	39	町をきれいにするために	多目2
3	63	男の人が家事(料理)に参加するためには	多目2
4	87	運動することのメリット	多目2
5	111	ゴミゼロの山北	多目2
6	135	アイヌが平和に暮らせる社会とは?	多目2
7	159	楽に子育てをするために	多目2
8	183	ゲームは本当に体に悪いのか	多目2
9	207	高齢者の病気を予防する	多目2
10	231	海老名のよさを多くの人にしつてもらうには、どうしたらいいか	多目2
11	255	Walk instead!!	多目2
12			多目2

発表順	番号	研究タイトル	会場
1	18	ストレス解消するために	1~3
2	42	運動	1~3
3	66	過疎化の対策	1~3
4	90	食品ロスを減らすには	1~3
5	114	ガン(大腸ガンについて)	1~3
6	138	いじめのない平和な世界にするために	1~3
7	162	殺人犯のない世界	1~3
8	186	コロナ禍での安全な会食	1~3
9	210	新聞紙を使った運動	1~3
10	234	山北町の魅力とは?	1~3
11	258	宣誓!「だだだ・大統領」	1~3
12			1~3

発表順	番号	研究タイトル	会場
1	19	ストレスを減らすために何をしていくか	1~4
2	43	説教中傷について	1~4
3	67	高齢者が健康で楽しく生きる社会	1~4
4	91	高齢者が住みやすい街作り	1~4
5	115	フードロスを抑える為にできること	1~4
6	139	ゲームによる健康被害	1~4
7	163	心の健康を維持するには?	1~4
8	187	元気なおじいちゃんになるため	1~4
9	211	保護動物カフェを廃校に作ろう(12月18日(土)代表発表)	1~4
10	235	山北をもっと有名にするには	1~4
11	263	山北を豊にするには	1~4
12			1~4

発表順	番号	研究タイトル	会場
1	22	地震が起きたら	多目4
2	46	少子高齢化を防ぐには	多目4
3	70	保育園の不足	多目4
4	94	コロナを気にしないで生活できる社会を実現するには?	多目4
5	118	コロナ感染者数を減らすには	多目4
6	142	『交通安全への意識欠如を解決するには』	多目4
7	166	不法投棄が少ない街を実現するには	多目4
8	190	高齢者の詐欺被害を減らす	多目4
9	214	スマホ消毒について	多目4
10	238	山北町の活性化	多目4
11	262	山北町に人を呼ぶために	多目4
12			多目4

発表順	番号	研究タイトル	会場
1	20	南海トラフ地震が起つたら	1~5
2	44	ゴミを減らそう	1~5
3	68	ゴミの削減について	1~5
4	92	カラスのゴミ問題	1~5
5	116	~山北町の特産物を使った料理を作るには!!~	1~5
6	140	音楽で疲れが取れるか	1~5
7	164	コロナの中での飲食業	1~5
8	188	バスケについて知ってもらおう!!	1~5
9	212	学校でイベントを開催したい	1~5
10	236	南足柄市の特産品	1~5
11	260	どうすれば御殿場線の利用者が増えるのか	1~5
12			1~5

発表順	番号	研究タイトル	会場
1	23	山北で土砂崩れが起きたらどうする!?	多目5
2	47	高齢者が元気に外出することが出来る社会	多目5
3	71	釣餌に苦しんでいる人を救うには	多目5
4	95	高齢社会とAI 技術の共生	多目5
5	119	フードロス	多目5
6	143	中高生にパソコンを使ってもらうには?	多目5
7	167	小田原市をきれいに	多目5
8	191	誰でも楽しくできる運動	多目5
9	215	人口減少について	多目5
10	239	Zero Garbage Project	多目5
11	259	住みやすい町	多目5
12			多目5

発表順	番号	研究タイトル	会場
1	21	地震から命を守れ!!	多目3
2	45	障害者の方々が住みやすい町にするには	多目3
3	69	コロナ禍での自粛について	多目3
4	93	コロナについて	多目3
5	117	フードロスと環境問題	多目3
6	141	食品ロスを少なくするために	多目3
7	165	食品ロスを少しでも減らすには?	多目3
8	189	日本の生き物を守りたい	多目3
9	213	コロナウイルスによって破壊された自然とは(12月18日(土)代表発表)	多目3
10	237	秦野市に住もう!!	多目3
11	261	健康から始まるコミュニケーションって?	多目3
12			多目3

発表順	番号	研究タイトル	会場
1	24	もし噴火が起きたら!?	多目6
2	48	二次元に行く方法	多目6
3	72	美術館の働き方	多目6
4	96	若者が暮らしあい街を実現するには	多目6
5	120	ホラーを広めよう~町を活性化させる~	多目6
6	137	コロナを気にせずに出かけられるようになるには	多目6
7	168	LGBTの差別を無くすために	多目6
8	192	地球にも環境にもやさしい食べ物	多目6
9	216	未病改善	多目6
10	240	行ってみよう!!生まれ変わった山北町へ	多目6
11	264	キャンプ人口増殖計画	多目6
12			多目6



発表終了後、生徒は発表に対する意見やアドバイスを「良かった点・改善点シート」に記入し、発表者に渡した。来場者にも同じシートに記入してもらい、生徒にその場で渡していただき、生徒発表の終了後、コメントーターから、生徒の発表に対する好講評をいただくことができた。



オ 来場者のアンケートより

来場者に特に印象に残った発表タイトルとその理由を聞いた。以下のような回答が寄せられた。

- ・ 「山北と弓道」
新しい観光スポットを作るのも大切ですが、既にあるものを活かすことで、歴史の伝承、景観の保全も出来るため、着眼点がすばらしいです。
- ・ 「健康について」
健康の定義って何だろう？と考えるその着眼点が素晴らしいです。健康の定義は難しいため、これからも考え続けてほしいです。
- ・ 「適切な睡眠について」
手元の読み原稿やスマホを見ず、自分の言葉で発表ができていた。データも自身でアンケートを取ったり、改善策を実施前後で比較するなど、論理・分析がしっかりしている。
- ・ 「高齢者の事故を減らすには」
発表内容を把握し、相手に語りかける（反応を見る）ようにしていた。原因・課題への分析が明確であり、独自の解決案（補助金や若年・高齢層の免許取得時の交流など）が提案されている。
- ・ 「高齢者が生きやすい社会」
高齢者や障がい者の周りの環境をよく調べていて、発表中には実際の事例を挙げながら発表していたので分かりやすかった。
- ・ 「ネット依存を減らしていくには」
自分を被検者とし、5分の間で簡潔にかつわかりやすくまとめていた。
- ・ 「山北をPRするパンフレット作り」
テーマに”ぶれ”がなく、企画から完成までまとまりがある。高校生らしさを感じる。
- ・ 「山北町に人を呼び込むためには」
自分の業務にも関係する地域活性化がテーマだったので印象的でした。若者から高齢者まで楽しめる「全世代参加型スポーツイベント」の開催という提案は、高校のクラブ結成まで具体的に検討されていてとても良かったです。
- ・ 「アイヌ民族が平和で暮らせる社会とは？」
アイヌ民族に対して理解を深める説明をしっかりした上で、問題点を提示したこと。
後半のグループはさらに印象的で、3年生の堂々とした姿は、1・2年生に印象的だったと思います。
- ・ 「山北で土砂崩れが起きたらどうする！？」
発表の中にクイズも取り入れ、発表者だけでなく全体で発表会に取り組んでいる雰囲気でした。
- ・ 「コロナの中よりよく生きていくために」
発表がうまかった。冒頭、みんなに問いかけて注意を引き、グラフの説明などスライドの近くで示しながら解説。原稿を読まずに話すところも多かった。また、スライドの作りもよく、センスがうかがわれた。

- ・ 「箱根のおみやげで地域活性化」
現状調査、課題の発見、対策案の提示、それぞれポイントを押さえていた。アイディアが実現可能性、実効性が高かった。
- ・ 「若さを保つ生活」
調査 → 対策で、「山北町でできること」を盛り込んでいたところ。
- ・ 「LGBT の差別を無くすためには」
非常に難題だったと思います。本学の小論文の課題にも上がるような課題です。私見を入れながら、社会のルールなどを見据え、発表していました。
- ・ 「食品ロスを少しでも減らすためには？」
私ができることを具体的に示したことは非常によいと思いました。
- ・ 「家の災害対策」
実際に厚木の防災センターに行った内容も盛り込まれていてよかったです。
- ・ 「ストレスと精神障害」
自分たちでストレス解消法として考えた筋トレ動画を紹介した点も印象に残りました。
- ・ 「コロナ禍でのライブ」
ライブ前の予約のプロセスから当日の会場の様子まで大変わかりやすく整理されました。とても具体的でリアリティのある発表でした。
- ・ 環境問題、人権問題、今日的課題、どれも印象に残りました。
- ・ 「高齢者の事故を減らすために」
問題点をしっかりと「自分事」として捉えていたので、自分の言葉で発表することができました。プレゼンの仕方も、とても落ち着いていて良かったです。
- ・ 「休んで見つかる山北町」
資料構成、話の組み立てが非常に上手でした。実施にたり、コスト額、資金の調達方法にまで触れており、分かりやすい発表でした。
- ・ 「山北をもっと有名にするには」
地域社会の課題に目を向け、道の駅にまでヒアリングに行き、探究的な学習に繋げていた。
- ・ 「がんを治して健康に暮らそう」
限られた時間の中でがん検診の大切さを伝えるために、神奈川や山北町の取り組み、またアメリカとの対比など効果的に表現っていました。まとめでは、自分はこの学びを踏まえてどうするか具体的な行動が述べられていました。説得力があったと思います。発表の声の大きさ、スライドもわかりやすくて感心しました。
- ・ 「ゲームが現代の子どもに与える影響」「スマホ依存が少ない社会」の2本
決して解決できないであろう課題に対し、自らの考えを持ち、チャレンジする姿勢に感動しました。
- ・ 「秦野市を活性化するためには」「機械と高齢者の暮らし」
それぞれ行政視点、市民の視点から現状をとらえて解決提案までする興味深い内容でした。
- ・ 「スマホ消毒について」
アンケート調査や企業へのヒアリングなど、実践的な活動を通して具体的なデータ提示や提案がなされており、素晴らしい。

- ・ 「交通安全への意識欠如を解決するためには」
自分事として課題設定し、提案までしっかり調べ、考えている様子が伺える。
- ・ 「高齢者の詐欺被害を減らす」
調査・考察が適切で、論理的な発表をしていました。

カ 全体を通して

今回の発表会では、それぞれの生徒が1～3年かけて探究に取り組んできた成果を発表する機会として、生徒全員が発表するように設定した。その際、各発表会場には1～3年生が必ず入るようにし、下級生が上級生の発表を聞くことで学びの機会が得られるようにした。また、すべての会場には、外部からコメントーターの方々に入っていただき、それぞれの専門家からの貴重な意見並びにアドバイスをいただけたことは、本校生徒にとっても、また教職員にとっても非常に良い学びの機会となった。

来場者アンケートでは印象に残った発表タイトルとその理由を問うもので、発表活動に関して概ね好意的な意見が多かった。一例として「手元の読み原稿やスマホを見ず、自分の言葉で発表ができていた。データも自身でアンケートを実施したり、改善策を実施前後で比較するなど、論理・分析がしっかりできていた。」「地域社会の課題に目を向け、道の駅にまでヒアリングに行き、探究的な学習に繋げていた。」など、生徒の探究活動を通して学んだことや日頃の発表活動等で練習を重ね、身に付けたプレゼンテーション能力を評価する意見が多く見られた。しかし、アンケートの回答に挙げられなかった発表グループは、発表内容や発表方法等について改善の余地があり、今後、教員の支援や外部講師との連携を通して、より魅力的な発表にするための支援が必要と考える。今後、生徒の実際の発表事例を挙げ、具体的なデータを提示しながら、自分事として捉えた発表活動にしていく努力が必要である。

キ 今後

今回は、生徒が司会を行い、教員がタイムコントロールを行う中で、生徒が主体的に運営していたように見えたが、今後は企画段階から生徒が積極的に関わるなど、生徒が担う役割をさらに増やしていき、より一層生徒主体の運営にしていきたい。

(2) 令和3年度研究成果発表会 【校外発表】

ア 目 的

- ・ 発表を通じて生徒の発信力を高めるとともに、地域との協働を深める。また、講評を得ることにより今後の本校教育活動の改善に資するとともに、本事業の研究成果を他校に発信する機会とする。

イ 日 程

a 令和3年12月18日（土）【午前】

- | | |
|------------------------|-------------|
| ・ 開会のことば・校長挨拶 | 9:30 |
| ・ 3年間の取組について | 9:35～9:45 |
| ・ 生徒発表①（1グループ7分×3グループ） | 9:45～10:05 |
| ・ 休憩 | 10:05～10:15 |
| ・ 生徒発表②（1グループ7分×3グループ） | 10:15～10:40 |
| ・ 発表生徒への質疑応答 | 10:40～10:55 |
| ・ 閉会のことば | 10:55 |

b 令和3年12月18日（土）【午後】

- | | |
|----------------------|-------------|
| ・ 開会のことば【副校長】 | 13:00 |
| ・ 校長挨拶 | 13:02～13:07 |
| ・ 来賓挨拶【文部科学省 / 山北町長】 | 13:10～13:25 |
| ・ 来賓紹介 | 13:30 |

<第1部>

- | | |
|-------------------------|-------------|
| ・ 生徒発表①（1グループ7分×3グループ） | 13:45～14:05 |
| ・ 休憩 | |
| ・ 生徒発表②（1グループ7分×3グループ） | |
| ・ 生徒の発表に対する意見・感想【文部科学省】 | 14:35～14:50 |

<第2部>

- | | |
|-------------------|-------------|
| ・ 3年間の取組について | 15:20～15:30 |
| ・ パネルディスカッション | 15:35～16:10 |
| ・ 県教育委員会より【高校教育課】 | 16:10～16:15 |
| ・ 校長挨拶 | 16:15～16:20 |
| ・ 閉会のことば | 16:20 |

ウ 対象生徒

本校生徒全員(会場の関係で、午前中は2学年、午後は1・3学年)

エ 発表会の内容

発表 1：オムライス（1年生グループ）

テーマ：心の病気とは何だろう

概要：精神疾患を有する人口の増加に伴い、人々の健康に影響が出ていることを知り、心身ともに健康でいられる社会の実現に貢献したいと思ったためこのテーマにした。そこで、精神疾患の状態やその原因を知ってもらうことが、未病改善の第一歩になると考え、絵本を作成しようと思った。



発表 2：大畠凌馬（2年生）

テーマ：犯罪被害減少を目指して

概要：祖父母の家がある厚木市では、犯罪の件数が多いためこのテーマにした。市区町村の犯罪件数などを調べていると、窃盗犯が多く、高齢者が受ける犯罪被害でも一番多いことが分かった。そこで既存の防犯アイテムを調べてみると、高齢者の方には扱いにくいものが多くだったので、高齢者でも扱える手軽な GPS を提案しようと思った。



発表 3：西迫翔太郎（2年生）

テーマ：山北町の少子高齢化問題について

概要：僕が陸上競技部の活動で山北町を走っている時に、若い人を見かけることが少なく、山北町の少子高齢化が気になったのでこのテーマを選定した。探究を進めていくうちに、年々人口が減少し、少子高齢化も進む、危機的な状況にあることが分かった。そこで僕は皆さんも利用できる SNS を活用した対策法を提案します。



発表 4：たかうみ ‘s（3年生グループ）

テーマ：新型コロナウイルスによって破壊された自然とは

概要：新型コロナウイルスの蔓延に伴う山北町の自然への影響について疑問を持った。そこで山北町役場などへのインタビューから、バーベキューや路上駐車などが自然破壊につながっていることが分かった。それらの課題解決につながる山北町への提案として、「GO TO 山北」を企画し、その具体的な企画内容を考えた。



発表5：ラオス（3年生グループ）

テーマ：保護動物カフェを廃校に作ろう。

概要：毎年多くの保護動物が引き取り元がないために殺処分されている。保護動物の施設を建てるには様々な条件が必要であるが、自然豊かで広いことが特徴の山北町にこのような施設を建てることができないか考えた。さらに、施設を建てるだけでなく、山北町のPRにも役立てるようなアイディアを考え、「保護動物カフェ」を提案することとした。



発表6：川添プログラム（3年生グループ）

テーマ：未病予防の食生活プログラム

概要：未病について関心を持ち、その予防について調べた。その結果、食事の栄養バランスが未病の予防に深く関連していることが分かった。そこで、東洋医学の視点から「健康的な献立作り」について考え、献立を組み立てるための表を作成した。



才 展示ホールの様子

展示ホールでは、3年間の研究での取組の様子を動画で流したり、授業で実際に制作したものを見たり、当日の午前中は、近隣の中学校3年生とその保護者の来場もあり、生徒の取組内容を真剣に見ている姿が印象的であった。





カ 学校の取組についての発表

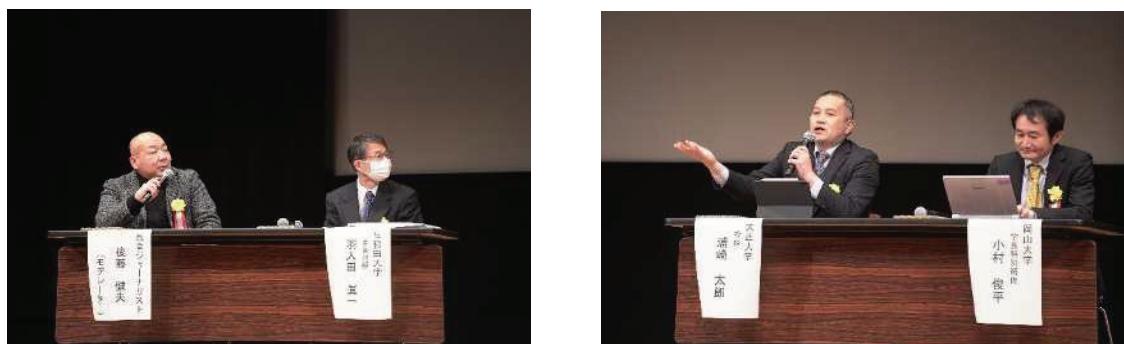
文部科学省の指定を受けてからの3年間の取組についての報告を沖津総括教諭が行った。3年間の成果として、1つは探究活動を行う上で、学校以外の方からも指導を受けることにより、これまで生徒自身にはなかった視点から物事について考察することができるようになり、発表機会を多く持つことにより、生徒のプレゼンテーション能力の向上が見られた。

もう1つはアンケート結果にもあるように、山北町に対する興味関心が増えたことが挙げられた。今後の課題として、生徒の卒業に伴い、探究内容データを引き継ぎながら、テーマの継続を工夫する必要がある等が挙げられた。



キ パネルディスカッションの様子

後藤健夫氏を進行役に、羽入田眞一氏・浦崎太郎氏・小村俊平氏をパネリストにお招きし、「山北町と探究学習」というテーマでパネルディスカッションを実施した。パネリストからは、山北高校の探究学習を応援することによって山北町が元気になる、といった意見が挙がった。さらに、浦崎太郎氏からは探究学習を「恋愛」になぞらえるなど、ユニークな表現も用いながら探究学習についてディスカッションが行われた。また、その話の中で、小村俊平氏からは、評価とは「自分がどういう条件ならば力を発揮できるか、活躍できるか」を他者に説明するためのものだという意見が挙がり、今後の取組の評価の仕方についても参考になるものであった。



ク　来場者・来賓アンケート結果

a　生徒の発表全般について

- ・　多少不便でも、若者が住みたくなる生活環境を調べていただきたい。
- ・　どの発表者も、歯切れが良く、スピード感もちょうど良く聞きとりやすい。
- ・　調査と提案が深くできている。
- ・　もっと調べていったり、現場の声を聞いたりすると、更に気づき、学びができると思います。本当に今後に期待ができました。
- ・　原稿を使わず、自分たちの言葉で話をされており、よく内容が伝わりました。
- ・　高校生らしい発想が生かされていました。これらの提案をいかに広げていけるか、現実化できるかが大切だと感じました。
- ・　どの発表でも、1つのアイディアや提案を、複数の視点で客観的に分析し、問題点やさらなる対策にまで言及して深めていた点が良かった。どの発表も適切な長さと理解しやすさだった。
- ・　共通しているのが自分達にできることは何かについて考えていること。これが高校生らしく、とても良かった。
- ・　提案の内容が具体的だった点がとても良かったです。
- ・　発表者が堂々としていて、どのグループも聞きやすかった。
- ・　問題点だけでなく、問題解決に向けたアイディアとそのメリット・デメリットをしっかり調査していた。
- ・　実現可能な提案がたくさんあって、素晴らしかったです。
- ・　聞き取りやすい声で良かった。もう少し時間をかけて聞きたいと思った。
- ・　少し早口であった。
- ・　地域ならではの課題設定や解決策が面白かったです。
- ・　グラフやデータをうまく使って発表の仕方も上手でした。
- ・　スライドの構成、プレゼン等、魅せ方のクオリティは高校生だと感じませんでした。思考のプロセスやアイディアも素晴らしかった分、その前のテーマ設定、想いの部分でもっともっと身近なものでもいいので、自分事になるテーマ設定になるといいなと感じました。
- ・　「プレゼンの力」を強く感じました。
- ・　他者から聞いた話、インターネットなどの文献と合わせて、今後はできる範囲で体験する様な活動をするとより自分事になると思います。
- ・　3学年の発表で良かった取組みはぜひ下級生に引き継いでもらえると良い。
- ・　皆さん、中身が濃くて、とても分かりやすかったです。中にはすぐ家庭でも取り入れて実行できる内容もありました。
- ・　みんなハキハキして話をしていたので、聞きやすかったです。

b　特に印象に残った発表タイトルとその理由

発表①「心の病気とは何だろう」

- ・　1年生でここまでできることが素晴らしい。
- ・　プレゼンがとても上手でした。
- ・　1年生の発表として、内容レベルが高かった。

- ・ これから時代を支えていく子たちが、このようなテーマを選んだこと、感心しました。
- ・ 課題に思ったことに対するよく調べられていましたと思思います。スライドも見やすく、ハキハキ話していました。作成した絵本の内容が気になりました。絵本の内容を発表に盛り込んで もよいかかもしれません。

発表②「犯罪被害減少を目指して」

- ・ おばあちゃんへの心配事を自分事としてとらえ、発想している点、また、お年寄りでも無理なく利用できるアイテムである点が素晴らしい。(商品化して、おばあちゃんにプレゼントしていただきたい)
- ・ 身内の心配から提示していったことが良い。
- ・ テーマの選定理由が祖父母のことを使ってという点。GPS やブザーなどの一般的な防犯グッズのデメリットを挙げながら、すぐに実現できそうな提案をされていた点。話し方も上手でした。
- ・ 個人的には一番想いが乗っていて、筋が通っていると感じました。
- ・ テーマ設定がおもしろく、もっと深堀できそうだから。

発表③「山北町の少子高齢化問題について」

- ・ SNS での山北町の魅力発信は、我々町民も進めることができますが、10代の視点が大事ですね。協力お願いします。
- ・ 現代的課題が取り上げられていますね。
- ・ 今後の活動に期待したい。
- ・ 発表者が原稿を読むだけでなく、しっかり伝わってきた。
- ・ データ収集力と少子高齢化対策に向けた新たな情報発信のアイディアは参考になった。
- ・ 若者らしい SNS を利用した素晴らしい内容であった。
- ・ 身近な問題を自分たちができる範囲のやり方で提案しているところ。
- ・ 話し方がとても上手でした。スライドの文字はもう少し大きいと良いと思います。「なぜ若者は都会へ行くのか」という疑問がとても良かったです。この問い合わせいろいろな発見が今後生まれそう。

発表④「コロナウイルスによって破壊された自然とは」

- ・ 実現可能な対策を考えているのが良いと思った。
- ・ 前年の発表を踏まえて、さらに進化されていた。
- ・ 具体的な方法を提案していた。
- ・ 価格設定まで具体的に実現できそうな形になっており、解決したいことも明確であった。
- ・ すぐにでも実行できそうなプログラムだから。
- ・ 具体的な施策が示されているので、分かりやすかった。

発表⑤「保護動物カフェを廃校に作ろう」

- ・ よく調べてあり、説得力がありました。発想もよく、山北町の特徴を考えていただいていた。
- ・ 学校から外に出て、課題を見つけ解決策を考える活動は素晴らしいです。
- ・ 「生命を大切にするまち～山北」は、今、犬猫を題材にしたテレビ番組も多く、タイミングよく三保小が利用できたら本当にうれしい。探究活動としてとても素晴らしいものでした。

た。

- ・ クラウドファンディングなど、もう実際にスタートできるのではと感じました。
- ・ 保護動物カフェは切実な一刻の猶予もない問題なので、特に押し進めていく課題だと思いました。
- ・ 保護猫の話題は世間的に以前より話題になっているので、良いテーマだと思います。実際にどれくらい県西地区の人が保護動物に興味を持っているのかを意識調査してみても面白いかも。
- ・ 動物が好きなので、とても良い提案だと思う。

発表⑥「未病予防の食生活プログラム」

- ・ 健康的な山北町の PR で素晴らしい。声の良い話術は特出です。話に惹き込まれました。
- ・ 実際に対策が実現しそうなレベルにまで具体化されていた。
- ・ 話し方や声がとてもよかったです。
- ・ 原稿を見ないでプレゼンしている姿が GOOD でした。
- ・ 詳細な献立まで五味に分けて紹介できていて良かったです。

c その他、発表会全体を通してご感想や改善点等

- ・ 発表時間もちょうど良い。
- ・ 複数人での発表より、1人での発表の方が聞きやすいと思う。
- ・ 発表の声、スピード、親しみやすさ、伝える力があると思いました。6グループの発表でしたが、本日発表にいたらなかった生徒さんたちの努力も称えます。
- ・ 皆さん、発表に慣れている感じがしました。自分の当時（高校時代）と比べると大変素晴らしいと思いました。
- ・ 発表はゴールではない。今後の活動を地域にどう結び付けていくのかが大事だと思います。
- ・ 様々な具体的な取組を見ることができ、実際に山北でも応用できそうな内容でした。SNS も効果的に使い、山北高校生のような若者が発信することによって、山北も変わることができるかもしれないという希望を見出すことができました。ありがとうございました。
- ・ 前日と同様に、パワポの作り方や話の進め方が本当に上手でした。こんなに大きな会場でたくさんの人の前で全員落ち着いて話せていたのがすごいなと思いました。
- ・ 発表のときに、スマホが原稿になっていたので、世代の差を感じました。数年後にはそういう世代の方たちと働くことになるので、心得ておこうと思いました。
- ・ こうした探究活動は是非継続してほしい。
- ・ 様々な提案がどれか一つでも実現できるように、次の展開が重要。
- ・ 全体的に、素晴らしい。この研究をさらに続けてください。
- ・ 高校生の目線での気づきが本当に興味深かったです。本日は素敵な機会をありがとうございます。
- ・ それぞれがいろんな視点から山北町について考えたり、世の中の問題に取り組んでいて、若い子たちがこのような学びをしているという事に明るい未来を感じました。良い取組だと思います。今後も期待しています。
- ・ 今後、プロジェクトを実行に移して、試行と検証を繰り返し（PDCA）、より良いものにしていってください。

- ・ 色々な分野のテーマがあって、素晴らしいと思います。
- ・ このような探究活動での学んだ考えは、将来も必要となる考え方のため、ぜひ役立ててください。
- ・ もう少しテンポをゆっくり進めてほしいです。スライドの文字が小さくて見えにくい時もありました。
- ・ とても楽しそうな表情で、興味を持ちました。
- ・ 話すスピードが早くなってしまうとせっかく研究したことが伝わりにくいで、気をつけたらと思う。今後も頑張ってください。

ケ 全体を通して

これまで、多くの方に関わっていただきながら進めてきた研究の成果を発表することができた。アンケートにもあるように、代表生徒の発表に対して、好印象な評価が多くあったように思われる。高校生の視点で、地域が抱える課題についての解決策が具体的に出されている点が評価されたのではないかと考えられる。また、展示ホールでは、山北高校の3年間の取組を、制作物や動画を通して、来場者に見ていただくことができた。

パネルディスカッションや情報交換会では、外部からの視点で今回の取組について意見をいただくことができ、今後の取組を継続していく上で、参考にしていかなければならぬと感じた。情報交換会では、他県でも同様な取組をしている学校もあり、地域との協働の部分で参考にしていただけける部分が多くあった。



コ 今後の展望

文部科学省の指定は今年度で終わりになるが、今後も山北町との協働や生徒や生徒たちの取組は続していく。また、規模は縮小していくが、生徒の意識付けに非常に効果が大きい外部への発表会も継続していきたい。そのためには、本研究の中で取組んできたことを、しっかりと整理していく必要がある。

教員の異動等により、本研究の立ち上げから関わってきた教員も少なくなっているが、この取組内容を継続できるよう、教員側も課題を整理・分析し、「未来探究」と学校設定教科「あしがら」の時間を有効に活用し、この3年間の取組をさらに発展できるようにしていきたい。

(3) 山北町への報告会（政策提言）

ア 目 的

山北高校が3年間取り組んできた「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（地域魅力型）」（文部科学省指定）の成果を山北町民に報告する。

イ 日 程

令和4年1月14日（日）

ウ 対象生徒

2学年1名、3学年2グループ10名

エ 発表生徒の選抜

2年生と3年生はそれぞれ学年での発表会を実施している。その発表会で優秀だった発表、さらに山北町への政策提言としてメッセージ性のある発表を教員で選抜し、2年生1グループ、3年生2グループが山北高校の代表生徒として発表会に参加した。

オ 生徒による山北町への政策提言

①「山北町の少子高齢化問題について」

山北町の人口ピラミッドのデータなどから、今の山北町が抱える問題について紹介した。これらの問題について山北町が現在取り組んでいる事業を紹介したが、町外の多くの人に知られていないことを問題点として提起し、そこで、SNSを使った情報発信を通じて、山北町の取組をアピールしてけるのではないかと提言した。実際に、発表者自身が山北町の名所で撮影した写真を紹介し、具体的な情報発信の方策について紹介した。

②「山北町の自然環境について、コロナ前とコロナ後」

新型コロナウィルス流行による山北町への影響について、町への取材を通して調べた。すると、バーベキュー後のゴミ残しが増加していることが分かった。そこで、「Go To 山北」という政策の提案をした。山北町でバーベキューをして、ゴミを持って帰れば割引されるという制度で、この仕組みがあれば環境保全をしつつ、山北町に観光客を呼ぶことができるのではないかと提案した。

③「ツリーハウス」

山北町の豊富な山林を生かして、ツリーハウスを作れないかと考えた。そこで、クラウドファンディングを生かして資金を集め、ツリーハウスを実際に山北町に作り、観光客を呼びよせることを提案した。





力 成果及び評価

代表生徒はこの日までに何度も発表の場があり、当日の発表も非常に落ちついて発表することができた。山北町民が多く訪れており、高校生ならではのユニークなアイディアに好意的な意見が多く聞かれた。また、山北町の町議会議員や町長も発表会を聴講しており、生徒たちは自らが考えた政策について直接提案することができた。

キ 参加者のアンケートの結果

(山北町よりご提供)

a アンケート回答数と年齢別人数

※受付参加者数は 105 名

年 齢	人 数(人)
19 歳以下	0
20~39 歳	14
40~59 歳	29
60 歳以上	30
合 計	73



b 居住地

地域	人数(人)※(20~39歳・40~59歳・60歳以上)
山北町内	49 ※ (4・19・26)
南足柄市	3 ※ (0・2・1)
中井町	1 ※ (1・9・0)
大井町	0 ※ (0・0・0)
松田町	3 ※ (1・1・1)
開成町	6 ※ (2・3・1)
その他	11 ※ (6・4・1)

c 報告会について

① 報告会の内容

項目	人数(人)※(20~39歳・40~59歳・60歳以上)
A とてもよかったです	55 (11・21・23)
B すこしよかったです	15 (3・7・5)
C あまりよくなかったです	2 (0・1・1)
D 全くよくなかったです	0

② ①の回答理由

«20~39歳»

- [A] • 町内外の生徒さんが山北町のことを自身のことのように考えてくれ想像力を働かせて様々な案を提案してくれたこと
• スライドを上手に使っていた。
• 議会向けに発表した時より発表も伝わりやすく内容の提案もより具体的になりましたよかったです。
• 高校生が自信を持って報告発表する姿に感動しました。また先生方の意識・意欲の高さに感心させられました。
• 高校生としての視点は大人では気がつかないようなアイディアがあり素晴らしい。
• 年間を通して研究を重ねてきたことがよくわかるプレゼンでした。とてもよかったです。
• 生徒の発表が上手でがんばっていることがわかる報告会でした。
• しっかり町の特徴を捉えた報告であり、高校生の視点での気づきがよかったです。
• 高校生の視点で感じたことアイディアが盛りだくさんであった。何よりプレゼン力、素晴らしいです。山北町で近い将来力を發揮していただきたいと心から思いました。
• 内容もしっかり調べられていて、とてもよかったです。ぜひ、ツリーハウスを山北につくってほしいと思う。
• 自分たちで考えどう行動したらよいかなど、アピールの仕方がとてもわかりやすかったです。
- [B] • 高校生ならではの視点でよかったです。発表したことを町の人が実際に聞いて、町の人の素直な意見を聞き、内容を修正していく活動をすると、内容が深まっていくと思う。
• よく調べられたと思いました。

『40～59歳』

- A
- ・ 自然を生かした新たな取り組み、SNSの活用による若者ならではの発想が素晴らしいと思った。
 - ・ 高校生が自分の思いを自分なりの言葉で伝えていることに感激しました。普段うかがうこと ができない高校生の話を聞けたことがよかったです。
 - ・ 山北町在住ですが、町外の、しかも学生さんからの視点で改めて山北町を知る機会を与えてもらつたこと
 - ・ 発表者の高校生が、それぞれ考えて発表している様子がよかったです。行政の人たちの前で発言できたこともよかったです。
 - ・ 高校生という若い世代の発想による活性化事業の提案
 - ・ 山北町をよくするためにいろいろ調べ、発表も聞きやすかったです。
 - ・ 高校生が地域について考えるだけでもすごいことと思う。それだけでなく行動し発表に至るまでの時間に感銘を受けた。
 - ・ 高校生が地域活性化のために調べたり考えたり、そして提案をし、とても感心しました。
 - ・若い世代からのいろいろな意見・考え方を聞くことができたのがよかったです。
 - ・高校生の自由な発想に刺激を受けることができたから。
 - ・生徒たちの探究心の素晴らしさと町への愛情を感じました。
 - ・よく考えて課題を捉えている内容だと思います。また、解決策についてもよくまとまっていると思います。
 - ・高校生らしい報告内容になっていた。よく調べられていたから。
 - ・学生の素直な意見を聞くことができました。
 - ・山北町の抱えている問題を、若い世代の子がよく直視している点。
 - ・高校生らしい視点で、山北町の課題を考えていたから。
- B
- ・町内の現地に行き、調査しているところ
 - ・素晴らしい報告であったが実現させるための方法についてもう少し何かあつたらよかったです。
 - ・地域のことを研究していることがわかった。
 - ・ツリーハウスは費用や場所等具体的に現実的であり提案を受け入れやすいのではと感じた。
 - ・山北高校がある山北町に対して、若い世代から興味を抱かれるようになっている。
- C
- ・発表したことに対して、受けた意見（これをどう受け入れるか・受け取るか）をもとに修正発表させていく余地あり。発表を、まとめでなく次への節となるようにする。

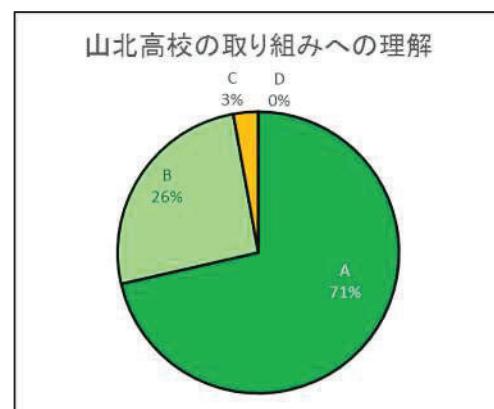
『60歳～』

- A
- ・山北を外から見れる・見られるよい機会になっていた。
 - ・高校生の目線が様々であり、多様性がよかったです。
 - ・①高齢者も当たり前にスマホを持つべきだと思っているから共感した。
②自発型授業と組み合わせると面白いと思ったから。
③キャンプ地利用者のフェアな負担でよいと思った。
 - ・自分の課題として捉えていた感じがする。
 - ・プレゼンスキルが高まってよい体験をされていることを見せていただき、清々しい時間でした。

- 町役場等へ直接行き、また現地を調べ町を知ってもらいたいありがとうございました。
 - 高校生でありながらこのようなことを考えている生徒がいたことが知れたこと。
 - どれも具体的提言があった。丸山町有地利用など実現性が高く、町としても実現に推進していただきたい。
 - 若者たちの視線でいろいろと考えて、これから山北の発展に役立ったと思う。
 - 実際にフィールドワークを重ねてがんばってこられたのが、とてもよく伝わりました。
 - よく調べてあり、内容もよかったです。
 - 町内の自然を生かす提案であり、山北ならではの提案であった。
 - 具体的な課題を見つけ解決策を提案し、非常によくできている。今後は、行政が高校生の提案を取り入れ、町づくりを進めるよう支援したい。
 - 発表のスキルの向上が見てとれた。継続は力なりを実感しました。
 - 生徒も伸び伸びとプレゼンしていた。
 - 自分で考えて行動し、自分の考えをまとめて表現できることはとてもよいですね。
 - 高校生らしい探究がよかったです。
 - 高校生らしい発想で、説明の仕方も簡潔でわかりやすかったです。自信を持って発表する様子に好感が持てました。
 - 生徒が自分で課題を見つけ上げていく体験はとてもよいと思う。また、まとめて発表することは大変だったと思う。
- [B]**
- 自らの探究したものを発表し、町の方にも聞いてもらえる場があることはよいと思います。
 - 浅く広い知識を皆さん持っていることはわかりました。広くなくてもよいから、一点深掘りをしてほしい。
 - 第1部の時間が短く、もの足りなかった。
 - 提案内容に深度（具体的な対応について）の差が大きく、提案内容により、検討・研究がさらに必要と思ったから。
 - タイトルの実現について、町政の具体的予算措置にどの程度実現可能性が不明。
- [無評価]**
- 高校生の新鮮な考え方興味を覚えました。

③ 山北高校の取組への理解

項目	人数(人)※ 10~19歳・40~59歳・60歳以上
A とても深まった	50 (8・19・23)
B すこし深まったく	18 (10・7・6)
C あまり深まらなかった	2 (0・1・1)
D 全く深まらなかった	0



④ ③の回答理由

『20～39歳』

- A
- ・ 町内にあるものの、正直学校に関する情報は入らないので、今回の取り組みをうかがうことでき、とてもよかったです。
 - ・ 山北高校のことを知らなかつたので、研究の内容もそうですが、授業の様子も知れました。
 - ・ 先生の報告により、取り組みがより理解できた。今後も継続的に地域探究＆発表を行ってください。
 - ・ 山北町のことを改めて知る機会となった。自然豊かな山北町の活かし方を知り、今後が楽しみになりました。
 - ・ 町外から来ている生徒さんも山北を知り考えてくれている思いがとてもよく伝わってきました。
 - ・ “当たり前”を見直すきっかけやいろいろな友達の意見にふれることでの発見など、高校生だからこそできる経験につながると感じました。自分の子どもの高校でもこんな取り組みがあつたらいいなと思いました。
 - ・ 生徒が探究していく時間があるので、自分がどう思うかだけでなく町の人の意見を聞き、それをもとに活動していくと、もっと内容が深まっていくと思います。
- B
- ・ 各グループの取り組み内容も町に関係性のあることを調べて、インタビューして、と取り組みの姿勢がよいと思いました。
 - ・ 探究的な学習で学んだことは、社会生活・私生活でも大変重要であると思うため。
 - ・ 時間の都合もあり、発表数が少なかった。詳しい内容をもっと聞きたかった。
 - ・ 関心は深まりました。今後もがんばってください。

『40～59歳』

- A
- ・ 地域との協働による課題解決に向けたカリキュラムに大変興味がわいた。他チームの成果も聞いてみたい。
 - ・ 実現できたら町づくりに成果のある取り組みの提案でした。
 - ・ 視点の気づきに新鮮さを感じた。
 - ・ 今回の発表された内容を、今後も具体的にしていきたいとのことなので期待しています。
 - ・ 普段から自分の住む町について考えることは多くあるが、ああだこうだと言うだけで解決には至れない。今回の発表は参考になると思う。
 - ・ 意外な視点からの発表があり、いろいろな部分での考えを知ることができた。
 - ・ 町に県立高校のあることの素晴らしさを改めて実感しました。より密に連携を深めるべきだと思います。
 - ・ 山北町に対する生徒さんの思いが感じられる発表であったと思います。
 - ・ 高校生に探究の様子がよく見えた。
 - ・ 年齢からすると人前で発表することを避ける年頃だと思っていましたが、そんなことはなく発表している姿は立派でした。
 - ・ 高校生が自分の関わる町に目を向けて考え方を取り組みが伝わりました。
 - ・ 町外に住む生徒が山北町のよい所を、町民以外の目線で考えているところ。
- B
- ・ 高校生活の中で、すでに地域について考え、他方面の人々と関わることは、社会に出ていく

上で役に立つ。

- ・ プレゼンテーションをこの年代から経験をして、とてもよいことで、うん年後、社会や上の学校に行ったとき役に立つと思いました。
 - ・ 地域と関わる力、携わろうとする若い力を、発表を通して感じました。
 - ・ 今後の社会経験に生きてくると思う。
 - ・ 1年間だけでなく、数年間活動をしている。
- 無評価**・ テーマによる生徒たちの取り組みということもあり、もともと関心はあったが会場内で自ら発表することもあり、良い内容と思った。

『60歳~』

- A
- ・ 進学校として考えていた。よって地域より勉学1本では。この誤解が解消された。継続した取り組みを期待する。
 - ・ 山北町の魅力を感じての提案、ありがたかったです。住民もポジティブに魅力を受け入れて、よい町にしていこうと思わされました。
 - ・ 陸上部の練習で町内を走り、少子高齢化である町を知り、活性化しようと取り組んでいただいたこと、感謝いたします。
 - ・ 何も知らなかつたから。
 - ・ 山北も少子高齢化が進み、空き家対策にも歯止めが止まらず心配になることに悩む。
 - ・ GOTO 山北、グランピングなど、実現できるとよいと思います。
 - ・ 3年間を通し、山北を知ること、課題を探り解決に向け提案されていて、これからもどんどん地域に関わっていただきたい。
 - ・ 外から見た山北町の現状が、高校生の言葉で伝えてもらえたのが貴重である。実現性を一緒に探っていきたい。
 - ・ 山北町への提言等、参考にしなければならない内容であった。
 - ・ 今後の活動が楽しみです。いろいろな分野での話を聞きたいです。
 - ・ これからも続けていって、1年生などに伝えてほしい。
 - ・ 高校生の取り組みを周りに発信することができたのではないかと思われる。
 - ・ チームを組んで探究してきたこともよかったです。
 - ・ 地域社会に高校生が関心を持ったこと。共生・共育の一歩となる。
 - ・ 実際にしている内容が具体的に説明されていたから。
 - ・ 普段は東山北駅で高校生の顔を見るだけ。スローガンと共に。
 - ・ 今後も研究が進み、新しい発想を積み上げ、提言してほしいと思います。
- B
- ・ 神奈川県（行政としての）や教員のサジェストが、多大な影響を与えていたのが理解できました。
 - ・ 生徒一人一人がテーマを持ち、活動している姿がよくわかりました。
 - ・ 山北町で何ができるか、高校生が何に注目しているかがわかりやすかったです。

◇報告会や山北高校への感想や意見等

『20~39歳』

- ・ コロナ禍での情報収集等大変だったと思います。若い方の若い目線で山北の問題に取り組む姿勢はとても頼もしく思えました。現代では、その日その日に精一杯になりやすく、なかなか未来

に目を向けることや想像力に欠けてきているように感じます。高校生の活力に期待するとともに、大人もがんばらなきやいけないと刺激をもらいました。ありがとうございました。

- ・ 報告の内容をどこがどのように実現できるのか。実現できるように動いていけるとよいと思う。
- ・ 浦崎先生の講演も素晴らしかったです。
- ・ 皆さんの堂々とした姿に感銘を受けました。子どもたち一人ひとりのよさがよく見られました。様々なことに疑問を持てるようになったという言葉が印象的でした。とてもよい場に参加させていただいたことに感謝いたします。今後の山北町・高校生を大切にしたいと思います。
- ・ 幼稚園と山北高校の交流を見させていただき、山北町の児童にとっても非常によい刺激であり、地域との関わりの経験になると改めて感じました。高校生の素晴らしい力、今後ともよろしくお願ひいたします。ありがとうございました。
- ・ 各グループ発表が素晴らしく、何よりプレゼン力の高さに驚きました。山北町の自然を活かしての提案や課題解決までよく調べ、自分の意見が入っていて、今後の山北町で実現できるようになればと思いました。
- ・ 素敵な発表をありがとうございました。
- ・ 高校生と町の人が一緒に活動していく様子が見たい。高校生が山北町のためにできることを考え実現できたら良い。→コロナ禍だけど、現地に行って実際に現状を見る。
- ・ この取り組みを行って、自分の夢やなりたい職業に変化はありましたか？
- ・ 報告会を何回も行っているところが理由なのか、発表のスキルや受け応えがとても上手だった。生徒の成長につながっている気がする。実際の活動に移せるようにしてほしい。
- ・ プログラムに時間も記載していただけるとより丁寧になると思います。
- ・ 高校生の発表は、生徒の皆さんのが堂々としていて、内容もさることながらプレゼンテーションの実力が素晴らしかった。町に今回の提案を託すと限界があり、機動性を持ってできないため、今回のような提案～実施までを実現化できるとよいと思いました。第2部が少し長く感じた。
- ・ いろいろ多くの方に聞いていただいたほうがよい内容なので、「平日に1回で終わり」でなく、発表内容を見られる形で残してほしい。（動画・プレゼン資料を紙で等）当日、高校生の発表資料を来場者に配付してほしい。大正大学の教授のはあるのになぜ？

《40～59歳》

- ・ 第1回を皮切りに、第2回、第3回とぜひ続けてください。できたら、他のチームの発表も機会を見つけて聞いてみたいです。フィールドワークなど、地域住民の積極的な参加も必要であると感じました。応援しています！がんばってください。
- ・ 地域の中にある高校なので、町とのつながりを大切にしてほしい。
- ・ 最初の発表をした方に質問ですが、山北町に高齢者が多いのでSNS 자체を知らない人が多いと思います。逆にSNSを使っている少ない人口が発信しただけでも、多くの人々に届けられるのでしょうか？そのへんもふまえて今後の探究に挑んでいただければよいと思います。ゆりかごの話はかわいかったです。
- ・ 本日はお招きくださいましてありがとうございます。プレゼン楽しく拝聴いたしました。地元企業をクライアントに迎え、企業案件をいただきながら具体案をプレゼンできるように、次のステップは実現できるとよろしいかと存じます。役場の方は、そのまとめ役を担っていただきたく存じます。山北町の今後ますますのご発展を願っております。

- ・ 高校生へ。引き続き山北町に対して興味をもってもらいたい。（卒業後も）
- ・ 堂々と発表されている姿がとてもたくましく思えました。これから成長も期待しております。人のための町であってほしいと強く思いました。
- ・ プレゼンをする、計画を立てるなど、いろいろな苦労があったかと思いますが、すてきな発表になっていたと思います。これからもいろいろな視点での考えを深めていってくれたらと思います。
- ・ 3つのプレゼンでしたが、もっと他の発表も聞いてみたくなりました。
- ・ バーベキュー & グランピングと GOTO 山北は一緒に実現するとよいと思います。特に GOTO 山北は町の財政拠出が必要ないので、素晴らしいと思いました。
- ・ 今後も継続して実施していただきたいと思います。
- ・ すてきな発表でした。次回も・・・。
- ・ マイプロジェクト、私も発見したいと思いました。
- ・ 素敵な取り組みだと思います。お互いの力になり得るといいですね。
- ・ 質疑応答では、代表の生徒さんだけでなく、複数の生徒さんの声を聞きたかった。
- ・ 伝統ある県立高校として、今後も山北町と連携して取り組んでいってほしい。
- ・ 高校生の出番をもっと増やしては？受付・発表・進行・あいさつ（主催は山北町かも知れないが）=この会自体もつくる一員として。地域とつながる一歩か？講師（講演の方の）のいうアクションを聞きたい。
- ・ 山北探究など継続し、よりよい報告会を楽しみにしています。

《60歳～》

- ・ 素晴らしい発表、感動しました。今日の中身を町の今後の発展に活かされることを願うところあります。発表、また探究された生徒の中で、何人くらい山北町に住んでみたいという考えに変わった人がいるのでしょうか。一人でも多いこと、期待するところです。
- ・ 探究の授業を取り入れられたのは、社会とつながり、地域を比較し、地域の将来を自分事として考えることが必要な能力として身に付けることの必要性・重要性から、カリキュラムに入ったと聞きます。18歳成人をむかえるため、今後もこのような（これで終わることなく）地域を考える考え方を身に付けてほしいと思います。山北町にとって、高校があることは重要です。連携、お願いします。
- ・ 災害時など大変つながり深いと思います。今後も町を知っていただきたいと思います。私も自治会の役をやっています。この報告の話を、おりをみて話していきたいと思います。
- ・ 私自身、山北町に移り住んで27年になりました。横浜とか都内に暮らした経験から、何もないからこそそのよさについても考えてほしく思います。同じように、少子高齢化はマイナスだけでしょうか？今まで、1年間相模原に勤め、松田で電車に乗ろうとすると、線路に入ったシカのために遅れているとか、山北町についた途端にしかの鳴き声が聞こえてくるとか、素敵すぎると思っています。高校生のみなさんはアベンチャーズ（注：映画のヒーロー集団）なのか、絶滅危惧種ではあるまいか？
- ・ 若い者はいいなあ。町の反応が楽しみです。
- ・ 若い高校生が山北の心配事を代表して発表してくれたことに感謝する。私たちも気を入れ直して考えていく気持ちになった。

- ・ 18歳が成人になるということで、高校生生活はより社会人としての意識をもってがんばっていただきたいと思います。
- ・ 地元に自慢できる高校があり、うれしい。
- ・ 若い方々の柔軟な発想は、町づくりにおいて大変刺激になります。これからもいろいろな場面で交流の機会を持ち、フランクな関係が築けたらと思います。また、よいところも悪いところももっともっと山北町について理解を深めていただきたいと思います。
- ・ 山北町は高齢化が進むとともに、面積の90%以上が山林となっており、近隣の市町に比べ定住人口増加が進んでいません。若い高校生から山北町の将来の発展につながる提案をいただきたいと思います。今後も地域魅力化型の活動を継続してください。
- ・ 発表の機会を継続的に行ってほしい。探究に町役場をもっと求めてほしい。
- ・ 高校生の積極的な取り組みに感心しました。今後とも山北町の活性化に対して活動していただきたいと思います。一緒に活動していきたい気持ちになりました。ありがとうございました。
- ・ 継続していくことで、地域を好きになってほしい。
- ・ 山北町の人口減少を少しでも食い止めるためにも、こうした取組を続けていけるとよいですね。
- ・ 高校生が「企画した」「案内する」「作った」などは一番受けます。もっと高校生を活用できるとよいと思います。
- ・ この取り組みは続けてほしい。今の子供たちには、学際的な思考を身に付けが必要。
- ・ 普段、スポーツも含めて学校生活を楽しんでいる様子が感じられています。地域でのあいさつのよさも感心しています。生徒の今によき雰囲気を持続していただきたいと思います。
- ・ 通学の利便性を図るため、東山北駅ホームの上屋設置とトイレ設置を町を通じて運動したら。東山北より利用者の少ない山北と比較し見劣りする。少子高齢化は止められないが、山北高校への進学希望者の確保のため。山高生は山北町住民が少ないが、浦崎氏は認識しているか。
- ・ みんなよい子すぎる！もっととんがりましょう！看板に札をしないでください。（大人がいけないよね。）
- ・ 校内だけの発表会にとらわれず、校外での発表は生徒一人ひとりの向上につながる活動であり、今後もぜひ続けてください。
- ・ 山遊びのエリアとして取られているようですが、山北での生活が活性化するような、何か（テレワークを含む）山北でのライフスタイルの提示がほしかった。電動自転車で仙石原の温泉や中川の温泉に行くライフスタイルとか、まきストープライフスタイルとか・・・。なにか住みたくなるような提案があればと思った。講演の先生の話は大変参考になりました。